

平成 20 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」

社会福祉法人 守里会

【設立年月日】1996 年 12 月

【授賞理由】

貴団体が取り組んでいる認知症の人と一緒にいる配食サービスや、その存在意義を認めあえる関係作りを形成するための授産施設の設置等の活動は、認知症の人たちとその家族に生きる意欲を与えるとともに今後の地域ケアのあり方にひとつの示唆を与えるものです。

これらの取り組みは、認知症ケア賞（実践ケア賞）の受賞に相応しいといえます。

【事業活動等】

法人設立以来地域のニーズを探り、施設・在宅それぞれの高齢者の生活を支えるべく尽力している。

全国における各研究大会にて積極的に発表・参加し、ケアの質を図るとともに、職員への福祉サービスに対する啓蒙・啓発に心がけている。

私たちが提供するものは、介護はなく生活であり、個別ではなく人と人との関係を築くことから生活は成り立つと、こだわり続けている。

介護保険事業の他に、生きがいデイサービスや配食サービス、また地域における相談や介護者教室などを行い、地域で元気に生活している高齢者との交流も図りつつ、住み慣れた地域で、健康に在宅生活を送る礎になれるよう関わってきている。

また屋島源平荘の指定管理者になり認知症予防講座を開催したり、認知症の相談窓口を設け、定期的に相談に応じるなど、地域に根付いたサービスを目指している。

【福祉雑誌への執筆】

「ふれあいケア」平成 16 年 5 月号

共に生活するために～「気付き」をカンファレンスに生かして～ 共同研究者

【認知症の人と家族の会】

香川県支部を立ち上げに関わる。

立ち上げに際し香川県認知症フォーラムを開催、家族の会本部高見会長や長谷川式認知症スケールの発案者である長谷川先生にご講義を頂き、多数の参加者を得て香川県支部を立ち上げる。以後、世話人として認知症介護相談への対応や、香川県支部をブロックにわけ、活動を密にする計画を立てるなど、認知症の家族が相談しやすい場づくりに力を注いでいる。

【認知症相談窓口の開設】

平成 20 年 7 月より，屋島源平荘および，守里会研修センターにて認知症に関する相談窓口を開設したり，在宅医療および福祉の関係者が，自由に研修ができるように，場を提供している．